



いっしょに成長する喜び

校長 新井 篤志

この冬はいつになく寒さの厳しい日が続きましたが、あたりを見回すと梅の花が咲き、県内では河津桜が満開を迎えているという便りも聞かれてきました。寒い中にも、少しずつ春の訪れが感じられるようになってきました。

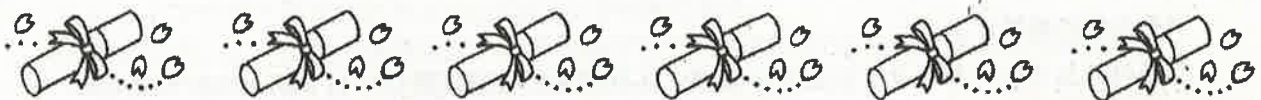
3月は卒業の季節でもあります。本校では3月19日(月)に卒業式が行われます。今年度は、卒業生73名が中学校へ進学していきます。卒業生一人ひとりが期待を胸に巣立っていきます。子どもの成長する姿は、未来への明るい希望を与えてくれます。中学校での活躍を祈っています。

子どもの成長をあらためて感じるこの時期を迎えると、親や教師、まわりの大人が今まで子どもたちのために様々な働きかけをしてきたことに気づきます。その一方で、アメリカの発達心理学者として有名なE・H・エリクソンは、「親だけが子どもを育てているのではなく、子どもも親を育てている」と言っています。また、哲学者の鶴見俊輔氏も「子どもは本来的に親のために何かしてあげたい気持ちをもっている」と言います。

大人は、子どもたちの成長を考えるときに、親が子どもに何かを与える、あるいは教えるという考えをもちます。しかし、実際の親子の関わりを見ていくと、子どもとの関わりを通して親自身が子どもから多くのことを学んでいることに気づきます。親は子どもを育てるとともに、自分自身も子どもに支えられていっしょに育っているという視点が必要ではないでしょうか。

親子が支え合いながら生きていく喜びを、日常の生活の中で味わっていくことができたらどんなにか素晴らしいことでしょうか。そうした機会を見出せることで親になっていく喜びを実感できるのではないのでしょうか。さらに、子どもが親に向けてする働きかけは成長の具体的な姿と考えてもよいのではないのでしょうか。

子どもといっしょに成長する喜びをかみしめたいです。



1月に実施した学校評価アンケートの結果をまとめました。それぞれのアンケートで項目ごとに、経年変化も含めて考察を行いました。この結果を学校評価報告書にまとめました。ご一読ください。

保護者の皆様には、アンケートへのご協力ありがとうございました。文章表記された貴重なご意見は、今後の学校運営の参考にさせていただきます。今月の学校便りは次の内容となっています。

- ・ 2月16日(金)、17日(土) オープンスクールに寄せられたご意見
- ・ 2月17日(土) 第2回「まち」とともにあゆむ学校づくり懇話会の報告
- ・ 学校評価アンケート(保護者・児童・教職員)結果と考察
- ・ 平成29年度 中期学校経営計画・学校評価報告書